

特別企画：東京都内に本店を置く 23 信用金庫 預金・貸出金調査

9 割が預金・積金、貸出金伸ばす

～ 23 金庫の平均自己資本比率 5 年連続低下～

はじめに

4月1日に近畿大阪銀行と関西アーバン銀行の合併により「関西みらい銀行」が誕生した。また、7月10日には横浜銀行と千葉銀行の業務提携が発表されるなど、依然として地方銀行を中心に再編機運が高まっている。そうしたなか、信用金庫でも今年に入り、静岡県で「浜松いわた信用金庫」、「島田掛川信用金庫」、「しずおか焼津信用金庫」が、三重県で「桑名三重信用金庫」が合併により誕生。中部地域で信金の再編が目立っているなか、東京都の信用金庫については、2006年1月に多摩中央信用金庫と八王子信用金庫、太平信用金庫の3金庫が合併し「多摩信用金庫」が発足したのを最後に合併は行われておらず、今後の動向に注目が集まっている。

帝国データバンクでは、東京都内に本店を置く23の信用金庫の、2017年3月末、2018年3月末、2019年3月末の預金積金残高、貸出金残高、自己資本比率の推移について調査した。

調査結果（要旨）

- 2019年3月末時点での東京都内に本店を置く23金庫の預金積金残高の合計は、25兆2033億1700万円（前期比1.38%増）。23金庫中、22金庫で増加した。
- 2019年3月末時点での23金庫の貸出金残高の合計は、14兆9億2800万円。前年比で1.85%増となり、23金庫中21金庫で増加した。
- 2019年3月末時点での23金庫の平均自己資本比率は9.58%となり、5年連続で低下した。また、前年比増加したのは7金庫にとどまった。
- 2019年3月末時点での貸倒引当金合計は700億6400万円で、前年期末から42億5400万円の増加。「西武」が46億8500万円増加し最大。

23金庫の貸出金残高（増減率順）

金庫名	貸出金残高	前期比(%)
青梅信用金庫	451,257	5.71
亀有信用金庫	245,848	5.31
東京信用金庫	674,909	5.30
小松川信用金庫	80,430	5.21
朝日信用金庫	1,078,748	5.01
足立成和信用金庫	245,961	4.37
瀧野川信用金庫	324,270	4.22
東栄信用金庫	62,524	3.98
多摩信用金庫	1,072,061	3.78
世田谷信用金庫	126,108	3.62
東京シティ信用金庫	432,478	3.61
東京東信用金庫	1,003,696	2.46
東京三協信用金庫	101,940	2.20
興産信用金庫	189,550	1.65
芝信用金庫	513,314	1.11
巣鴨信用金庫	887,491	0.71
城北信用金庫	1,210,996	0.67
さわやか信用金庫	815,929	0.48
目黒信用金庫	91,017	0.41
西武信用金庫	1,664,246	0.14
城南信用金庫	2,197,278	0.02
昭和信用金庫	181,966	▲1.82
西京信用金庫	348,911	▲2.54
合計	14,000,928	1.85

(単位：百万円、2019年3月末)

1. 預金積金残高 ～23 金庫合計で 25 兆 2033 億円

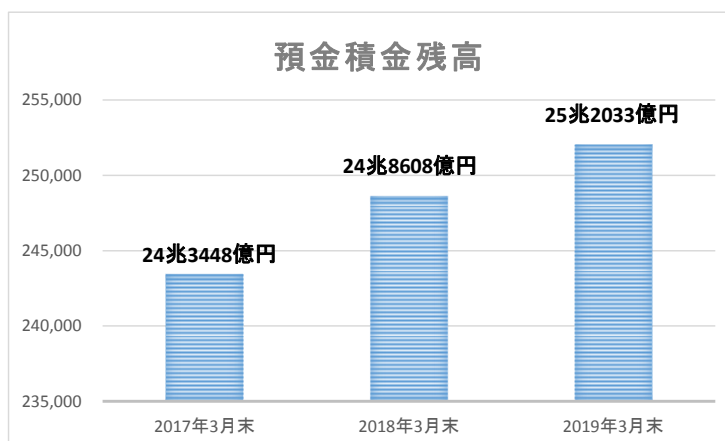
2019 年 3 月末時点の 23 金庫の預金積金残高の合計は 25 兆 2033 億 1700 万円となり、2018 年 3 月末 (24 兆 8608 億 600 万円) 比で 3425 億 1100 万円増加 (1.38%増) した。

23 金庫中 22 金庫 (構成比 95.7%) で預金積金を伸ばし、総預金積金残高の増加が続いている。

2019 年 3 月末時点で、預金積金残高が 1 兆円を超えているのは、3 兆 6609 億円の「城南」、2 兆 7407 億円の「多摩」、2 兆 4645 億円の「城北」をはじめ、「西武」「東京東」「巣鴨」「朝日」「さわやか」「芝」の 9 金庫。

前年に比べて最も預金積金残高の増加幅が大きかったのは、「西武」(5.50%増)。以下、「東京」(4.60%増)、「東京三協」(3.23%増) と続いた。一方でマイナスとなったのは「さわやか」(0.37%減) のみだった。

各金庫では、改めて関心が高まっている老後資金など、多様化する利用者のニーズや資金運用に対応するべく幅広い預金商品を取り揃えている。少子高齢化の進行といった社会の変化を踏まえ、高齢者や子育て世代向け商品を拡充している。増加率トップとなった「西武」は、50 周年キャンペーンとして金利を上げたことが預金高の増加に寄与した。



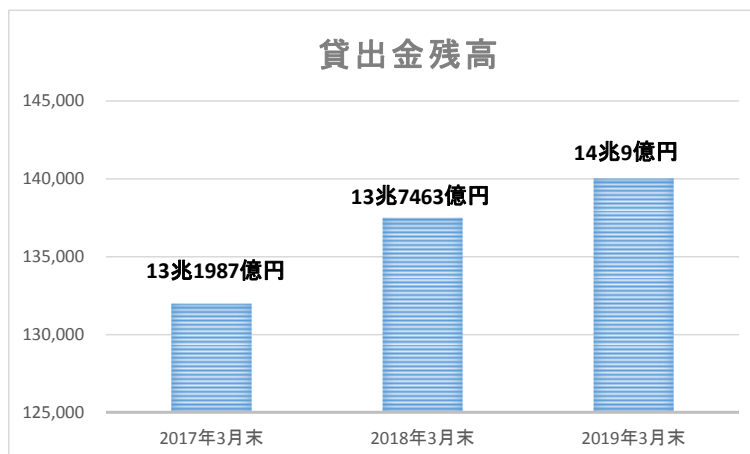
預金積金残高

金庫名	預金積金残高(単位:百万円)			前期比 (%)
	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	
城南信用金庫	3,573,071	3,632,440	3,660,919	0.78
多摩信用金庫	2,644,221	2,702,799	2,740,758	1.40
城北信用金庫	2,416,138	2,437,670	2,464,535	1.10
西武信用金庫	1,749,021	1,935,136	2,041,645	5.50
東京東信用金庫	1,785,228	1,828,479	1,830,058	0.09
巣鴨信用金庫	1,758,492	1,778,333	1,797,453	1.08
朝日信用金庫	1,741,546	1,761,684	1,779,080	0.99
さわやか信用金庫	1,469,254	1,472,315	1,466,923	▲ 0.37
芝信用金庫	1,100,591	1,108,968	1,116,391	0.67
東京信用金庫	874,721	922,558	965,031	4.60
青梅信用金庫	749,133	757,475	769,097	1.53
東京シティ信用金庫	673,577	669,983	679,733	1.46
瀧野川信用金庫	646,261	653,564	653,580	0.00
西京信用金庫	626,847	633,765	634,629	0.14
亀有信用金庫	524,973	535,557	546,364	2.02
足立成和信用金庫	488,396	492,973	501,434	1.72
昭和信用金庫	405,791	410,714	413,444	0.66
興産信用金庫	333,289	333,748	334,158	0.12
世田谷信用金庫	203,600	208,198	212,546	2.09
目黒信用金庫	163,194	167,447	168,496	0.63
東京三協信用金庫	153,786	151,651	156,544	3.23
小松川信用金庫	136,121	137,207	140,200	2.18
東栄信用金庫	127,610	128,142	130,299	1.68
合計	24,344,861	24,860,806	25,203,317	1.38

2. 貸出金残高 ～23 金庫合計で 14 兆 9 億円

2019 年 3 月末時点の 23 金庫の貸出金残高の合計は 14 兆 9 億 2800 万円となり、2018 年 3 月末(13 兆 7463 億 8500 万円) 比で 2545 億 4300 万円増加 (1.85%増) した。

23 金庫中 21 金庫 (構成比 91.3%) で貸出金残高を伸ばした。個人向け融資に積極的に取り組んでいることなどが貸出金の増加につながっているものの、前期比で 1.85%増(前年は 4.1%増)と伸びは鈍化した。



貸出金残高が 1 兆円を超えているのは、2 兆 1972 億円の「城南」、1 兆 6642 億円の「西武」、1 兆 2109 億円の「城北」、1 兆 787 億円の「朝日」、1 兆 720 億円の「多摩」、1 兆 36 億円の「東京東」の 6 金庫。「朝日」が前期比 5.01% 増となり「多摩」を上回った。また、「東京東」が 1 兆円超えとなった。

前期比 2 ケタの伸びを記録した信金はなく、最も増加率が大きかったのは、「青梅」(5.71%増)。以下、「亀有」

(5.31%増)、「東京」(5.30%増)が続いた。投資用不動産向け融資問題のあった「西武」は、前期比 0.14%増とこれまでの増加傾向 (2017 年 3 月末＝

15.76%増、2018 年 3 月末＝14.84%増) が鈍化。一方、増加率マイナスとなったのは「西京」(2.54%減)、「昭和」(1.82%減)の 2 金庫。

貸出金残高

金庫名	貸出金残高(単位:百万円)			前期比 (%)
	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	
城南信用金庫	2,147,954	2,196,749	2,197,278	0.02
西武信用金庫	1,447,097	1,661,855	1,664,246	0.14
城北信用金庫	1,189,975	1,202,959	1,210,996	0.67
朝日信用金庫	983,982	1,027,303	1,078,748	5.01
多摩信用金庫	1,013,469	1,033,057	1,072,061	3.78
東京東信用金庫	959,945	979,602	1,003,696	2.46
巢鴨信用金庫	883,282	881,215	887,491	0.71
さわやか信用金庫	801,728	812,034	815,929	0.48
東京信用金庫	588,005	640,934	674,909	5.30
芝信用金庫	478,142	507,669	513,314	1.11
青梅信用金庫	405,862	426,866	451,257	5.71
東京シティ信用金庫	390,249	417,392	432,478	3.61
西京信用金庫	352,350	358,007	348,911	▲ 2.54
瀧野川信用金庫	297,919	311,146	324,270	4.22
足立成和信用金庫	225,002	235,670	245,961	4.37
亀有信用金庫	227,679	233,458	245,848	5.31
興産信用金庫	189,646	186,469	189,550	1.65
昭和信用金庫	180,002	185,332	181,966	▲ 1.82
世田谷信用金庫	116,241	121,707	126,108	3.62
東京三協信用金庫	99,184	99,743	101,940	2.20
目黒信用金庫	88,247	90,642	91,017	0.41
小松川信用金庫	71,709	76,446	80,430	5.21
東栄信用金庫	61,040	60,130	62,524	3.98
合計	13,198,709	13,746,385	14,000,928	1.85

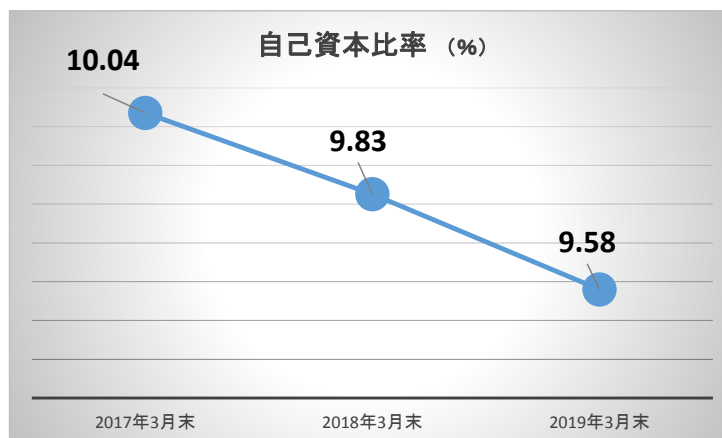
3. 自己資本比率 ～平均 9.58%と 2 年連続の 10%割れ

23 金庫の平均自己資本比率を見ると、2017 年 3 月末 10.04%→2018 年 3 月末 9.83%→2019 年 3 月末 9.58%と 2 年連続で 10%を割り、依然として右肩下がりの推移となった。また、5 年前の 2014 年 3 月末(10.53%)と比較すると約 1 ポイント減少している。

2019 年 3 月末時点で 23 金庫中、最も自己資本比率が高かったのは「亀有」で 16.59%。次いで「東栄」で 11.76%、「芝」で 10.89%となり、自己資本比率が 10%を上回っているのは 23 金庫中 7 金庫だった。

前期比で最も増加率が大きかったのは「西武」(0.35 ポイント増)。そのほか増加したのは「目黒」「昭和」「西京」「足立成和」「東京」「東京シティ」で 7 金庫にとどまった。

自己資本比率は全 23 金庫で国内基準の 4%を上回ったものの、低金利政策が長期化するなか、経営の健全性確保に苦慮している様子がうかがえる。



自己資本比率

金庫名	自己資本比率			前年比 (ポイント)
	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	
亀有信用金庫	18.38	18.00	16.59	▲ 1.41
東栄信用金庫	11.98	12.21	11.76	▲ 0.45
芝信用金庫	11.89	11.16	10.89	▲ 0.27
目黒信用金庫	10.34	10.23	10.39	▲ 0.16
東京東信用金庫	11.42	11.02	10.23	▲ 0.79
昭和信用金庫	9.94	9.92	10.16	▲ 0.24
巣鴨信用金庫	10.76	10.50	10.10	▲ 0.40
西京信用金庫	9.51	9.61	9.75	▲ 0.14
西武信用金庫	9.20	9.31	9.66	▲ 0.35
城南信用金庫	10.07	9.74	9.63	▲ 0.11
青梅信用金庫	10.05	9.73	9.54	▲ 0.19
瀧野川信用金庫	10.21	10.33	9.44	▲ 0.89
小松川信用金庫	10.92	10.14	9.40	▲ 0.74
足立成和信用金庫	9.51	8.98	9.02	▲ 0.04
朝日信用金庫	9.20	9.05	8.83	▲ 0.22
興産信用金庫	8.87	9.01	8.71	▲ 0.30
東京三協信用金庫	8.93	8.98	8.62	▲ 0.36
東京信用金庫	8.39	8.17	8.26	▲ 0.09
東京シティ信用金庫	8.59	8.05	8.23	▲ 0.18
多摩信用金庫	8.37	8.36	8.01	▲ 0.35
城北信用金庫	8.12	7.83	7.80	▲ 0.03
さわやか信用金庫	7.84	7.81	7.71	▲ 0.10
世田谷信用金庫	8.33	7.96	7.61	▲ 0.35
平均	10.04	9.83	9.58	▲ 0.25

4. 貸倒引当金

23 金庫の貸倒引当金合計を見ると、2018 年 3 月末 658 億 1000 万円→2019 年 3 月末 700 億 6400 万円と 42 億 5400 万円増加している。2019 年 3 月末時点で 23 金庫中 11 金庫が前期比増加、同 12 金庫が減少した。

前期比で最も増加したのが「西武」の 46 億 8500 万円増。以下、「多摩」の 7 億 9500 万円、「朝日」の 5 億 6200 万円と続くが、23 信金の増加額を「西武」の 1 信金が上回っていることから「西武」が際立つ結果となった。一方で前期比最も減少したのが「東京シティ」の 12 億 2000 万円減。以下、「昭和」の 6 億 4200 万円、「さわやか」の 4 億 3500 万円と続いた。

貸倒引当金

金庫名	貸倒引当金(単位:百万円)		
	2018年3月末	2019年3月末	前期比
西武信用金庫	8,671	13,356	4,685
東京信用金庫	3,352	3,002	▲ 350
朝日信用金庫	2,718	3,280	562
青梅信用金庫	2,224	2,452	228
多摩信用金庫	7,874	8,669	795
城北信用金庫	5,049	5,376	327
東京シティ信用金庫	2,286	1,066	▲ 1,220
西京信用金庫	3,369	3,091	▲ 278
瀧野川信用金庫	2,856	2,976	120
小松川信用金庫	189	175	▲ 14
東京三協信用金庫	412	302	▲ 110
東栄信用金庫	341	246	▲ 95
奄有信用金庫	3,709	3,578	▲ 131
芝信用金庫	1,030	875	▲ 155
足立成和信用金庫	717	682	▲ 35
目黒信用金庫	47	31	▲ 16
巢鴨信用金庫	4,070	4,440	370
城南信用金庫	4,299	4,385	86
東京東信用金庫	5,526	5,928	402
興産信用金庫	1,515	1,653	138
さわやか信用金庫	2,967	2,532	▲ 435
昭和信用金庫	2,503	1,861	▲ 642
世田谷信用金庫	86	108	22
合計	65,810	70,064	4,254

5. まとめ

信用金庫は、主な取引先が営業エリアの中小企業や個人事業者、地域住民であり、地域経済を支える役割を果たしている。大手行・地銀・第二地銀(主要 111 行)の 2018 年 3 月末→2019 年 3 月末の総貸出金の増加率は 5.0% (帝国データバンク：国内主要 111 行の預金・貸出金等実態調査) に対し東京都内に本店を置く 23 信用金庫の総貸出金残高は、23 金庫中 21 金庫で貸出金残高を伸ばしたものの、貸出金合計の増加率は 1.85%と主要 111 行平均を大きく下回った。

中小企業金融円滑化法が終了した 6 年前の 2013 年 3 月末では、前年比で貸出金残高を伸ばした金庫が 21 金庫中 8 金庫にとどまっていたことを鑑みると、東京都における資金需要は依然として旺盛であるとみられる。一方、近年活況であった不動産業界への融資については近時の不正融資問題に端を発し、見直しを検討するケースも増えてきている。ここ数年大きな伸びを見せてきた西武信用金庫は、金融庁から業務改善命令を受け投資用不動産への融資方針を見直すとされ、来年末の貸出金動向に影響を与えそうだ。

金融庁は今年 4 月に早期警戒制度の見直しを中心とする中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針の改正案を公表。従来の不良債権問題を念頭にした自己資本比率による健全性重視の方針から、将来の収益性を重視する方針へと転換し、地域金融機関への監視を強化する。都内信用金庫においては、2019 年 3 月末で自己資本比率 9.58 と 5 年連続で低下しているが、今回の方針転換によりさらなる低下も予想され、貸出金および預金積金と併せて動向が注目される。

【参考】

営業拠点数

金庫名	本店所在地	店舗数
朝日信用金庫	台東区	64 ※
興産信用金庫	千代田区	20
さわやか信用金庫	港区	65 ※
東京シティ信用金庫	中央区	30
芝信用金庫	港区	51 ※
東京東信用金庫	墨田区	68
東栄信用金庫	葛飾区	11 ※
亀有信用金庫	葛飾区	23
小松川信用金庫	江戸川区	10
足立成和信用金庫	足立区	23
東京三協信用金庫	新宿区	12
西京信用金庫	新宿区	29 ※
西武信用金庫	中野区	75
城南信用金庫	品川区	86 ※
昭和信用金庫	世田谷区	19
目黒信用金庫	目黒区	11
世田谷信用金庫	世田谷区	14
東京信用金庫	豊島区	30
城北信用金庫	荒川区	95 ※
瀧野川信用金庫	北区	28 ※
巣鴨信用金庫	豊島区	41
青梅信用金庫	青梅市	36
多摩信用金庫	立川市	79

※出張所含む

総資金利ざや

金庫名	総資金利鞘		
	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
西武信用金庫	0.41	0.55	0.61
東京信用金庫	0.32	0.35	0.37
朝日信用金庫	0.14	0.23	0.28
青梅信用金庫	0.24	0.25	0.39
多摩信用金庫	0.16	0.18	0.25
城北信用金庫	0.20	0.22	0.23
東京シティ信用金庫	0.13	0.16	0.20
西京信用金庫	0.19	0.20	0.19
瀧野川信用金庫	0.17	0.17	0.17
小松川信用金庫	0.22	0.13	0.15
東京三協信用金庫	0.05	0.09	0.15
東栄信用金庫	0.19	0.17	0.14
亀有信用金庫	0.11	0.06	0.13
芝信用金庫	0.07	0.10	0.12
足立成和信用金庫	▲ 0.08	0.00	0.11
目黒信用金庫	0.05	0.06	0.08
巣鴨信用金庫	0.09	0.05	0.06
城南信用金庫	0.09	0.07	0.05
東京東信用金庫	0.01	0.03	0.05
興産信用金庫	0.05	0.05	0.04
さわやか信用金庫	▲ 0.02	▲ 0.03	0.03
昭和信用金庫	0.06	0.05	0.06
世田谷信用金庫	▲ 0.01	0.00	0.00
平均	0.12	0.14	0.17

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 東京支社情報部 担当：森山・高田

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。